

サステナビリティマネジメントグループ (ラボチーム)

SDGs／気候変動／スマート／木／人材育成／社会実装

【PICK UP】森林環境譲与税活用検討～都市木モデル創出～人材育成

■脱炭素化・地域経済に貢献する都市での木材活用

- ・気候変動影響が顕在化する中、国土の保全や水源の涵養や脱炭素化の文脈から、森林環境譲与税が創設され、森林整備、木材活用が着目されています。
- ・市町村の森林環境譲与税活用に向けたビジョン策定から、木材調達・活用支援、人材育成まで地域の製材事業者等と連携し、取り組んでいます。

■当社の取組ポイント

- ①森林整備～木材活用まで川上～川下まで一貫した取組支援
- ②地域の事業者（製材事業者等）と連携したプロジェクト組成
- ③市町村、設計士等向け担い手向け人材育成



- ①② 立木調査～製材発注支援～公共建築材供給支援（神戸市）
- ③ 風倒木を活用したスマートアンブレラデザインコンペ実装支援

【近年の森林・木材関連業務】

- 森林事業の事業化-kikioプロジェクト-(滋賀県湖東地域)
- 森林環境譲与税を活用した森林整備実施計画策定、木材コーディネート業務など（神戸市）
- 森林・林業ビジョン等策定支援（多可町、豊岡市、柏原市）
- 福知山千年の森づくり基本計画策定支援（福知山市）
- 都市空間における木造木質化関連(兵庫県林業会館、関西将棋会館、スマートアンブレラデザインコンペPJ)
- 地域内木材循環-おおさか都市木循環プロジェクト-（（一社）大阪府木材連合会／顔の見える木材での快適空間づくり）

*令和3年度森林・林業白書 (P35) 掲載プロジェクト

■2021年度のおもな業務

【環境基本計画】

- 環境基本計画（精華町、八幡市）

【気候変動・脱炭素】

- 気候変動適応広域アクションプラン策定（中国四国地域、近畿（普及啓発事業））（環境省）
- 市町村低炭素まちづくり推進支援（愛知県）
- 再生可能エネルギー導入戦略策定(京丹後市、半田市)
- スマートエリア形成可能性調査等（福井県、高浜町、奈良県、NAKAMIZUイノベーションコア創出コンソーシアム）
- 地域循環圏形成プラン策定（愛知県）
- 次世代交通システム(MaaS) 検討（熊本県）
- 地球温暖化対策実行計画（赤穂市、武豊町、京田辺市）

【木材活用・森林・生物多様性】

- 森林環境譲与税を活用した森林整備実施計画策定、木材コーディネート業務など（神戸市）
- 森林・林業ビジョン等森林に関する計画策定支援（多可町、豊岡市、柏原市、福知山市）
- 総合射撃場運営検討支援（兵庫県）
- 上山高原自然再生事業支援（兵庫県）
- 東条川疏水ネットワーク博物館運営支援（兵庫県）

【SDGs・人材育成】

- SDGs未来集落形成モデル事業（真庭市）
- 脱炭素×SDGsオーガナイザー育成事業（兵庫県）
- 脱炭素経営スクール事業企画運営（豊田市）
- 地方創生による持続可能なまちづくりに関する調査分析(宝塚市)

■グループメンバー

- 中川 貴美子：公私ともに、木分野の展開に邁進中。（チームマネージャー／技術士（環境部門）・准木材コーディネーター）
- 植松 陽子：中部地域で脱炭素化に奮進中（チーフ）
- 豊福 宏光：異分野（文化芸術）から参画し3年目に突入（チーフ）
- 駒 和磨：環境省への出向の経験を活かし、脱炭素関連業務に精励（チーフ）
- 佐藤 拓也：ソーシャルテクノロジーオフィサーとして全社的に活躍中（STO）
- 栃本 大介：（公財）ひょうご環境創造協会より出向にて、適応などジョイン（上席研究員）
- 森野 真子：100%在宅勤務を実践中（サポートスタッフ）
- 霜倉 妙：育休から復帰（サポートスタッフ）
- 畑中 直樹
（取締役 新領域担当 グループマネージャー 兼名古屋事務所長／博士、認定都市プランナー／総務省 地域力創造アドバイザー等）

■社会活動等

- 兵庫県立森林大学校講師（畑中／中川）
- 他 グループマネージャー（畑中）を大学・団体役員・委員・講師等へ派遣多数。総務省 地域力創造アドバイザー等

サステナビリティマネジメントグループ (リサーチチーム)

資源循環・サーキュラーエコノミー／脱炭素等による 環境と経済が両立する社会

プラスチック問題解決へのアプローチ

- 海洋プラスチックごみ、気候変動などをきっかけに、プラスチックの資源循環の向上が要請されています。
- 家庭や事業者のプラスチック排出実態調査、製品プラスチックの収集・資源化実証、資源化コスト・CO2削減量の試算、事業モデルの立案、代替製品の提案など、多様な方法で取り組んでいます。



▲家庭ごみ中の製品プラ



▲海岸に漂着した大型プラ



▲プラスチック循環モデルの提案



■業務実施のポイント

- ①イメージ先行のプラごみ対策について、レジ袋や容リプラ等についての長年の経験による知見の蓄積
- ②プラごみの資源化推進社会実験、リサイクル事業者と協力した事業化プロジェクトの支援等多くの実績

食品ロスの調査～減量・資源化支援

- 「食品ロス」が大きな問題となっています。2019年には食品ロス削減法ができました。また、SDGsのターゲット12.3にも食品ロスが取り上げられています。
- 食品ロス発生量などの現況把握から、地域に適した食品ロス削減対策の提案や社会実験の実施、食品ロス削減推進計画の策定まで、幅広く取組を行っています。

■業務実施のポイント

- ①市民モニター調査・店頭での販売実験・ごみ組成調査など、食ロスに幅広くアプローチ
- ②食品ロス削減に向けた社会実験や事業者支援など、事業化が進みつつある取組も多い



▲コンビニの食品ロス



▲食品ロスのワークショップ

▲家庭の食品ロス

■2021年度のおもな業務（抜粋）

【食品ロス関連業務】

- 豊中市（食品ロス削減推進計画の策定）
- 吹田市（食ロス削減計画を含むごみ処理基本計画）
- 愛知県（事業系食品ロスの排出実態等の調査）
- 大阪市、堺市、生駒市、八尾市、木津川市（食品ロス調査を含む、家庭系・事業系一般廃棄物の調査）

【廃プラスチック関連業務】

- 愛知県（プラスチック循環モデルを含む「サーキュラーエコノミー推進プラン」の作成）
- 京都市（製品プラスチックの収集・資源化に向けた実証事業）
- 京都府・岐阜県（廃プラスチックの排出実態調査）

【その他の廃棄物関連調査・計画】

- 大東市・河内長野市（収集業務の効率化等の調査）
- 芦屋市（指定袋導入に関する検討及び一般廃棄物処理基本計画の策定）
- 埼玉県清掃行政研究協議会（県内自治体における近年の課題等の調査）

【地球温暖化対策・気候変動適応】

- 三重県（気候変動が県内の養殖漁業（ノリ・真珠・マダイ）に与える影響の評価の検討）
- 八幡市（環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定）

16 エキスパートグループ

■チームメンバー

- 長沢 弘樹：分野（廃棄物～気候変動適応）、手法（基礎調査～社会実装支援）とも、幅広く取り組んでいます（チームマネージャ／技術士・衛生工学部門廃棄物管理）
- 齋藤 友宣：昨年チームに加わりました。スーパーや生協と協力した食品ロス削減の社会実験などの実績が豊富なほか、災害廃棄物対応・処理などが得意です（チーフ）
- 伊藤 栄俊：ごみ組成調査を中心にしつつ、環境省出向時に手がけた脱炭素事業など、様々な方面に業務を広げています（チーフ）
- 桜井 寛：ごみ処理基本計画や災害廃棄物処理計画の策定をメインに担当するほか、アンケートや将来予測など基礎的な調査を多く担当しています（研究員）
- 佐土井 達也：組成調査やその取りまとめなどを中心に担当しています（研究員）
- 畑中 直樹（取締役 グループマネージャー兼名古屋事務所長／博士、認定都市プランナー）

■社会活動等

- 学会活動（廃棄物・資源循環学会）など、幅広く取り組んでいます